科目名称：	障害児保育研究Ⅱ	
担当者名：	中村　明成　山田　紀子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1

授業の目的・テーマ

実習ⅠⅡを通してケースカンファレンスを実施し、事例研究を深める。保育計画、保育内容、保育評価にも着目し、研究成果としてまとめる。成果発表会に向けて、自らの実践をふりかえる。

授業の達成目標・到達目標

ケースカンファレンスでの保育者とのミーティングで、子どもの姿を理解できているか。特に言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションを受け止め、やりとりを把握できているかどうか。

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			50	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》（中村）障碍者支援施設支援員　社会福祉士　ケアマネージャー	《経験年数１》 １１年１０か月
	《内容２》（山田） 保育士　幼稚園教諭	《経験年数２》 １２年４か月　１９年
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
カンファレンス	自分のケースだけでなく、他のケースについてもよく考え意見を出し合える	自分のケースについて、他者の意見を参考にして話し合える	自分のケースについての話し合いを記録できる	自分のケースについての話し合いが不十分である
成果発表会原稿	カンファレンスをもとに、協力してよく原稿にまとめ、発表につなげられる	カンファレンスをもとに、原稿にまとめ、発表につなげられる	カンファレンスをもとに、原稿を作成できる	カンファレンスの内容を、原稿に反映することが不十分である

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回　オリエンテーションと学習の進め方	シラバスを精読する	40分
第２回　障害児保育を含むしょうがい児（者）福祉サービスのあらまし(復習)	前期の学びを振り返り、障害児保育、福祉サービスについて復習しておく	30分
第３回　障害児保育を含むしょうがい児（者）福祉サービスのあらまし(復習)	前回の授業を振り返り、障害児保育、福祉サービスについて復習しておく	30分
第４回　前期インターンシップの振り返り	前期の記録を読み返し、子どもの行動の意味を考える	60分
第５回　前期インターンシップの振り返り	前期の記録を読み返し、子どもの行動理解を深める	60分
第６回　前期インターンシップでの課題を整理する	前期の記録を読み返し、子どもの行動の意味や援助について整理しておく	30分
第７回　前期インターンシップでの課題を整理する	前期の記録を読み返し、子どもの行動の意味を考え記録しておく	30分
第８回　インターンシップ（現場参加）のまとめ記録作成	後期の記録を整理し、現場参加をまとめておく	30分
第９回　インターンシップ（現場参加）のまとめ記録作成	現場参加先の情報を理解し、現場参加の記録をまとめておく	45分
第10回　インターンシップ（現場参加）のまとめ記録作成	現場参加先の情報を理解し、現場参加の記録をまとめておく	45分
第11回　インターンシップ（現場参加）のまとめ記録作成	現場参加先の情報を理解し、現場参加の記録をまとめておく	45分
第12回　ケースカンファレンス（グループディスカッション）	カンファレンスをもとに記録を修正しておく	45分
第13回　ケースカンファレンス（グループディスカッション）	カンファレンスをもとに記録を修正しておく	45分
第14回　ケースカンファレンス（グループディスカッション）	カンファレンスをもとに記録を修正しておく	45分
第15回　成果発表会とまとめ	成果発表会のための原稿を作成し、練習しておく	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

インターンシップの記録のまとめとカンファレンスへの積極的関与。記録（５０％）カンファレンス（５０％）

課題に対してのフィードバック

カンファレンスには教員も参加して、各自のかかわり＆記録を評価する。

教科書・参考書